

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**111**

令和5年(2023)
4月1日発行



「春近し」 祝迫正豊

INDEX

時代を読む	1
上川路 長生	
九州ブロック介護老人保健施設大会 in さが	2~3
研く 究める	4~7
令和4年度 研修会	8~9
協会だより	10
老健に入るためのご案内	11
ぶらぶらが素敵 かがしま①	12~13
こほれおちたものもの③⑤	14
三角 みづ紀	
ふるさとフォーカス	15
ろうけん広場	16
かごしまの食卓 春編	17
介護用品あれこれ	18~19
あなたの地域の介護老人保健施設	20~24
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曾於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「春近し」	25
祝迫 正豊	
編集後記	25

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。



凡事徹底

鹿児島県老人保健施設協会 監事

上川路 長生



寒波も去った2月14日・15日の県老健大会に出席して、研究発表を聴くことが出来ました。

短い時間での体験発表から、多くの示唆を受けました。『凡事徹底』は、発表者の資料の中で使われていた言葉ですが、私の会計事務所のキーワードの一つでもあります。施設内感染を経験して『一度の甘い考えや判断により、入所者の生命や施設全体を脅かす程の恐怖に繋がる事を忘れることは出来ない』と当たり前の事を徹底的に行うことを全職員で確認していると、『凡事徹底』の実践の発表がありました。

政府の予想を上回る勢いで日本の人口減少が進んでいて、『異次元の少子化対策』が喫緊のテーマとなっています。研究発表会では、少子高齢化となった社会情勢の中、高齢者が在宅で

最後を迎えることが難しい現状にあつて最近では施設で看取りが多く行われていることや、人材不足を補うため技能実習生を受け入れられているその対応についての課題が話されました。さらに近代的な情報通信技術の積極的な活用などの少子化対策に取り組んでいる様子がよく分かりました。

研究発表を通じての感想は、職員の皆さんから、施設への強い一体感が見て取れました。勤務する老健全般の活動に関心をもち、力を合わせて施設の利用者や家族の信頼に込めていけるように努める思いがよく伝わってきました。発表などの仲間との共同活動を通じて老健「愛」が各所で醸成されていました。職員の力を結集することで組織は強靱な絆で結ばれてきて、老健施設の経営は健全になってく

るといえます。

入所者に質の高いサービスを提供するには、施設の経営状態が良くなければ難しいのです。財政状態に余裕がなければ、サービスは充分にはできません。介護施設業界は「冬の時代」の真っ只中にあります。直近での新聞で、介護事業者の倒産急増との報道がされていました。コロナで痛めつけられて資金繰りに窮して、手を挙げる事業者が増えているとのことでした。決して「他山の石」ではないのです。

高齢者が鹿児島県は人口の3分の1を占めている中で、過当競争の時代に突入していて、老健施設のベッドが空いている施設も出てきています。人員基準を満たすために高い仲介料を支払い職員を集めても、退所率が高くて入所退所のいたちごっこをして施設の体力を奪っていくケースもみられます。老健の実態は、家庭と医療機関を結ぶ中間施設というイメージとは違ってきていて、施設間連携をしっかりとしなければ、もはや老健は存続できない時代になってきています。

「会計がわからなくて経営ができるか！」は、昨年亡くなっ

た『平成の名経営者』稲盛和夫氏の経営者への警鐘です。経営指標である売上や経費は、損益計算書（試算表）に表示されていて、それを見ない経営者というのは、計器盤を見ずに操縦するパイロットのようなものと稲盛氏は指摘されています。自分でできないのであれば、会計に明るい事務長かナンバー2を身近に置いて、しっかりと毎日報告を受けることが肝要となります。

職員の間には施設への強い連携の帰属意識が、経営強化に必要となつていきます。老健に所属する全職員が、経営者と気持ちを一つにすることが老健施設の組織の健全なあり方と考えられます。それには経営者は職員を守り抜くという姿勢を見せて慕われる存在にならなければならぬのです。私も会計業界で『担雪埋井』（たんせつまいせい）という言葉があります。あきらめずに最後までやり抜く意味に使っています。施設には入所者が間断なく存在していて、経営者と職員は、それぞれが力を合わせて信頼にお応えできるように、『担雪埋井』の決意で努力を重ねていってほしいものです。



佐賀市で開かれた九州ブロック大会

九州ブロック介護老人保健施設大会 in さが 「がばいよか老健」 ～令和時代の老健の在り方とは～

鹿児島は6施設が発表

第21回九州ブロック介護老人保健施設大会 in さがは、昨年12月15、16日、佐賀市文化会館で開催されました。テーマは「がばいよか老健く令和時代の老健の在り方とは」。「がばいよか」は佐賀弁で「すごくいい」という意味。九州・沖縄から約600人が参加し、ワークショップや基調講演のほか、11分科会で約70の演題発表がありました。鹿児島からは6施設が研究成果を披露しました。

開会式で大会会長の山元章生・佐賀県介護老人保健施設協会会長が「高齢化が進む中、われわれ老健は地域を守る必要がある。大会で新しい知恵を得て、成果を持ち帰っていただきたい」と、あいさつ。全老健会長の東憲太郎氏（南さつま市加世田出身）が「コロナ禍における老健施設の現状」と次期介護報酬に向けた課題」と題して講演しました。

ワークショップでは「アジアのなかでの外国人介護人材獲得競争 考えられる国、施設へのあり方を考える」のテーマで、問題解決の糸口を探りました。

介護現場での人手不足の解消には、外国人材確保は必要との認識を共有し、受け入れ側、送り出し側、当事者の三つの視点で討議しました。受け入れ側の日本人パネリストは、外国人材は世界中で求められつつある現状を説明。「職場ではともに働く『仲間』として接することが大切」と説きました。

沖縄県の特別養護老人ホーム「愛の村」で介護福祉士として働くチャトウミイスリカーさん（スリランカ出身）は、4年間で技能実習生から介護福祉士になった経験を披露。「施設利用者とのコミュニケーションをとるため日本語を懸命に勉強しました」など、短期間で学んだとは思えない流ちょうな日本語で話しました。

基調講演のテーマは「人生100年時代の医療・介護」で、社会政策課題研究所の江崎禎英所長が講師を務めました。特別講



挨拶する全老健の東憲太郎会長



外国人介護人材の受け入れなどについて考えたワークショップ



座長■人材
ナーシングホームひだまり(鹿屋市)介護福祉士 西園 聡子

演では日本医師会名誉会長の横倉義武さんが「コロナ禍から見た地域医療と介護」について話しました。

鹿児島県関係の演題と発表者

■在宅復帰関連

「アラハンだって まだまだできる
～超高齢者を支える訪問リハとは」



アメニティ国分(霧島市) 理学療法士 轟木 秀信

■リハビリ関連

「本人が望んだ活動为目标に
取り組んだ2症例～老健施設に
おけるOTの役割と試み」



ナーシングホームひだまり(鹿屋市) 作業療法士 渡邊 賢志郎

■リハビリ関連

「老健通所リハビリ利用者の効用的
ADL 評価 スコアの傾向と課題」



愛と結の街(鹿児島市) 作業療法士 廣田 享子

■食事・栄養・口腔ケア関連

「経口摂取をめざして
～日常生活全般を活性化」



まろにえ(鹿児島市) 看護師 金澤 ちえ子

■食事・栄養・口腔ケア関連

「食べることをあきらめない
～完全経口摂取、身体拘束解除をめざして」



アンダンテ伊集院(日置市) 入所看護 小瀬 陽子
(当日演者は入所看護 勝田 美香子(写真))

■様々な取り組み

「よかとがあいもんじゃ!
～眠りSCANの多様性と効果」



ナーシングホームひだまり(鹿屋市) 介護福祉士 西園 沙紀

研 究 究 め る

よりよい介護を自ざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

訪問リハビリはオーダーメイドの宅配サービス

介護老人保健施設 アミニティ国分（霧島市）

〈発表者〉 理学療法士 轟木 秀信

〔はじめに〕

介護報酬改定でも老健からの訪問リハ推進が叫ばれる今、令和3年5月、当施設も訪問リハビリサービスを開設した。開設後、初めての相談は要支援レベルの方で、以前、外来リハビリに十分な効果を見いだせず利用中止された経緯のある方だった。この症例を支援する中で、家族の一員としての役割や自信の創出、QOL向上が得られたと同時に、提供側であるセラピストの対応力の重要性を感じたので、他2症例を交え、今後の訪問リハビリの可能性を考えたつ報告する。

〔事例紹介〕

①A様 80歳代後半 女性 要支援2 既往歴：変形性膝関節症・腰椎圧迫骨折・脳梗塞後遺症等
主訴：両側膝痛・尿失禁・食べこぼし・外出機会減少

②B様 60歳代前半 女性 要介護4 既往歴：子宮筋腫・RSD・右乳癌術後・多発性骨転移等
主訴：全身性の疼痛・立ち上がり不安定・歩行不安

③C様 70歳代前半 男性 要支援2 既往歴：認知症・右脛骨遠位端骨折・認知症・前立腺肥大等
主訴：歩行不安定

〔方法〕

いずれの症例も、介入時にはバイタルチェックと自宅での活動の様子や疼痛の状況確認を行ない、バイタルサインが指示範囲を超え、運動は速やかに事業所医師へ連絡、運動負荷量や介入内容の微調整を行なった。

運動実施時にはその方法や効果についての細かな説明を加えることで相互理解を図った。運動に用いる道具は日常にあるものや比較

的容易に入手できるものを使い、普段の生活動作も運動につながるのだという意識付けを心掛けた。自宅で行なう医師の定期診察にケアマネジャーの参加を依頼する

ことで、本人の現状と問題点の共有がスムーズに行なえ、対応策の再検討と修正がその場でできるようにした。



運動に用いる道具の一例



在宅での医療診察風景



屋外歩行の様子

【結果】
 A様：当初、リハビリに懐疑的な発言もあったが、丁寧な説明を添えることで理解が得られ、不安の解消と信頼の獲得につながった。立ちあがり直後の両膝痛によりすぐに歩きだせず排泄の失敗があったが、骨盤底筋体操や立ち上がり動作指導を実施した。併せて行った福祉用具導入も効果的で、尿失禁の解消につながった。疼痛が軽減したことでお買い物や散歩に出かけられるようになった。屋内動作も安定し、来客対応や曾孫の相手、洗濯、炊事なども安定して行なえるようになり、「家に帰れば婆ちゃん（息子にとつては母）がいる」という、家族をつなぐ家長の役割を継続し、楽しい在宅生活となっている。

B様：内服調整が功を奏し、疼痛管理ができた始めたことでモチベーションアップあり。転倒・骨折に対しての不安もある中、立ち上がりや足踏み運動にも取り組んでいる。デイサービス利用も開始され外出機会も得られるようになった。



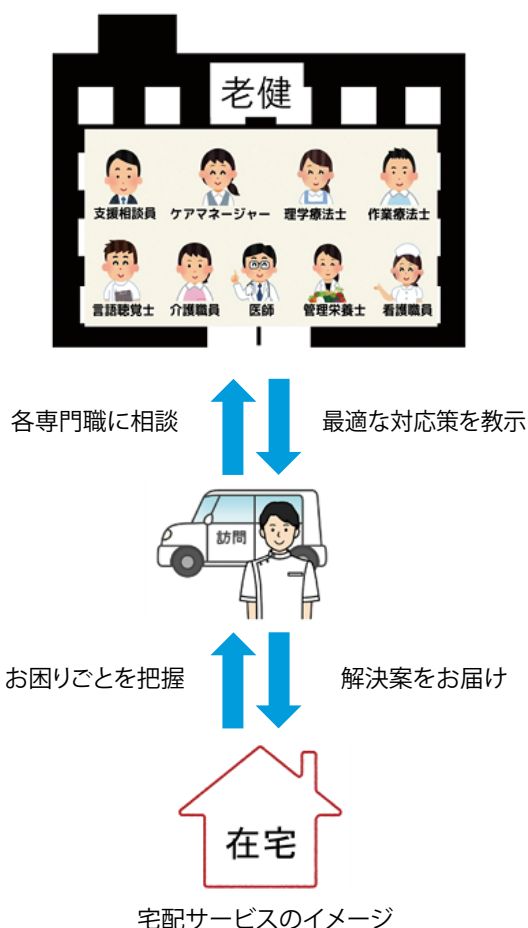
足の運動

C様：介入開始時より血圧不安定あり。医師・薬剤師・ケアマネ等と連携して内服調整等を行なったことで徐々にではあるが生活リズムが整いつつある。電動カー導入や住宅改修も完了し、安全・安心に屋内移動や外出ができるようになったことで他者交流も拡大し、笑顔も増えている。

【考察・まとめ】
 開設当初、訪問リハビリ提供は老健退所後のフォロワーが中心とな

ると想定していたが、実際の依頼はそれぞれに悩みを持ちながら在宅生活を送られている方々であった。老健では多職種の評価を踏まえリハを行なっているが、訪問リハビリは基本一人対応となる。そのため、介入時に見聞きした問題点のうち、その場で解決困難なものについては老健に持ち帰り、次回訪問時、専門職に教示してもらった最適解をフィードバックするようにしている。

これらの体験から感じたこれらの訪問リハビリに求められるものは、「個の意思の尊重」を基軸にしたリハビリを構築し提供する「宅配サービス」的な体制を確立することではないかと感じた。一方で、老健からの訪問リハビリの認知度はいまだ低く、地域のケアマネジャーへの啓蒙活動も必要である。これからも多職種協働を得意とする「老健力」でオーダーメイドリハビリを提供し、在宅生活を支援していきたい。



研く究める

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

更なる負担の少ない介護の実践に向けて！ 介護ロボット、福祉用具活用方法の見直し

介護老人保健施設 ラポール吉井（南さつま市） 〈発表者〉 介護福祉士 濱田 卓也

【はじめに】

当施設では、平成25年から排泄や移乗動作、体位変換等の状況に介護ロボットや福祉用具を活用し、多職種協働で負担の少ない介護の実践に努めている。そして一人一人にふさわしく適切に活用できるように外部講師来園による指導で介護ロボット、福祉用具の特性を理解して正しく状況に合わせて使い分けるところで負担軽減につながっている。

今回、介護ロボット、福祉用具の活用方法の見直しを行うことで、排泄や移乗動作、体位変換等の負担軽減につながったので報告する。

【導入している介護ロボット・福祉用具】

介護ロボット：HAL[®]介護支援用腰タイプ（以下HAL）、移

乗サポートロボット Hug（以下 Hug）
福祉用具：スライディングシート・ボード、イージースライド、床走行リフト、ターンテーブル等

【活用できるまでの取り組み】

1. 外部講師による指導
福祉技術研究所の市川冽氏を招き、福祉用具の活用方法についての研修会を開催。法人内の各事業所2名程ずつ参加し負担の少ない介護について学び、他のスタッフに伝達する。
2. 現場での指導や勉強会を開催
研修会参加メンバーが中心となって他職員へ学んだ知識・技術を勉強会や現場で伝達指導する。
3. 会議の開催

介護ロボット、福祉用具の特性を理解し、対象の方を検討する。

使用に向けての注意点等を決める。

4. 使用方法の確認

定期的に現場で正しく使用できているかの確認を行う。その際、正しく活用できていない職員に対しては再度講習を行う。

5. 機器を状況に応じて使い分ける

① HAL：日中おむつゼロ達成



に向け、排泄介助の多い時間帯に使用。どうしても持ち上げられない箇所（トイレや肘付き椅子への移乗）で活用する。

② Hug：排泄動作2人介助の方に使用。評価を行い、対象の方を検討する。





【結果】

市川氏の研修会開催前は福祉用

- ③床走行リフト…身体状況に合わせて脚分離型、シート型、パオのスリングの種類を使い分ける。
- ④ターンテーブル…立位保持が可能で方向転換動作が行えない方に使用。
「ベッド⇄車椅子」、「椅子⇄車椅子」、「トイレ便座への移乗」に活用する。
- ⑤車椅子（ネットイ、REVO）…座位が不安定な方に評価を行い、高さ調整椅子や車椅子の選定を行う。
また、負担のある個所に合わせて、新たな機器を必要数購入の検討も行う。

【考察】

機器を導入するだけでは正しく使用できず、十分に活用できていなかったが、外部講師によ

具の使用に関して、「時間が掛かる」、「手間である」、「使用方法が分からない」との理由で、活用できる職員は少なかった。毎月会議や勉強会を開催し、介護ロボット、福祉用具の効果・利点を理解して伝達し、現在では介護常勤職員全員が活用できている。また、介護ロボットと福祉用具の特性を理解して使い分けることで負担軽減につながっている。

さらに、非常勤職員（中年女性）への理解と活用をすすめる努力をしていきたい。

る研修会を行うことで福祉用具の特性を正しく理解でき、負担のある個所での使用頻度が増えたことや負担のある個所に新たな福祉用具の導入の助言等をもたらうことができ、とても効果があったと思われる。

また、介護ロボットと福祉用具を状況に応じて使い分ける能力をスタッフの資質向上と共に構築していく努力を続けていきたい。

ロボット導入について、いつも心掛けることは人間にしかない「真心とやさしい手」を決して忘れず質の高いケアを目指したい。



ターンテーブル

立位が保てるが、方向転換ができない方に使用



ベッド⇄車椅子

容易に設置でき、多くの場所で使用できる！



トイレ便座への移乗



椅子⇄車椅子

スライディングシート



常時ポケットに入れて使用！

体位変換や移乗、座位修正等に使える

スライディングボード

座位が保てるが立ち上がりができない方に使用



介助方法を理解することで安心・安全に移乗できる！

令和4年度 研修会

令和4年度第2回PT・OT・ST部会

日時：令和5年1月18日

会場：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる配信

参加者：Zoom48名・会場2名 YouTube再生回数30回（2/6現在）

テーマ

「リハ専門職ができるこれからの介護予防と地域支援」

講師：安本 勝博 先生（津山市役所）

【アンケート結果】

1. 評価

非常に良かった：6人 良かった：2人

2. 研修会についての意見・感想

- ・利用者様の目標設定やリハビリ専門職のあるべき姿について、具体例を用いながら講演していただき大変わかりやすかったです。今後の業務に活かしてまいります。
- ・利用者さんのニーズの聞き取りなどについても「なぜ？」を聞かずに漠然と目標設定などを行っていることが多く、身体機能にとらわれていたことに改めて気づくことができました。
- ・今回の先生の講義で、身体機能に偏った支援ではなく、自己決定を尊重しながら「したい」と感じている活動に着目していくことの大切さを学ばせていただいた。そのためには対象となる方の生活歴の把握やコミュニケーション等により信頼関係を築いていく重要性も先生の話から改めて感じた。身体機能だけではなく、心にも視点が向けられるように意識していきたい。
- ・利用者様の暮らしをみる大切さについて、改めて再認識することのできた講義でした。今まで行っていた評価や介入はあくまで手段であり、目的は利用者様の健康（身体的なものだけでなく、精神的・社会的なもの）であること。その健康はわたしたちが決めるものではなく、利用者様自身が決めるものであること。利用者様の今が健康であると感じることができるように、どのような介入を行っていくか、どのような仕組みを作るか、今一度考えたいと思います。
地域での支援に関しては以前、市からの依頼にて健康教室での講師のほか、健康教室を運営するボランティアの方への助言・指導・教育に携わせて頂いたことを思い出しました。現在はその事業も終わり、健康教室での講師のみとなっていました。今回お話を伺い、ボランティアの方への支援を再開したいという思いが強くなりました。
自身の仕事のありかたを振り返り、見直すよききっかけとなりました。素晴らしいご講義ありがとうございました。

・今回の講演について、日頃から多職種と協業する中でリハ専門職としてすべきことがわかりやすく伝わってくる内容でした。
講演内容を他のスタッフとも共有し、機能訓練に偏りがちなアプローチや目標設定など見直す第一歩となればと思います。ありがとうございました。

・私個人では、安本先生の研修会に何度か参加させていただいており、そのたびに介護予防の重要性と実践の難しさを感じているところです。今回の研修でもセラピストに向けた経験や行政からの熱いメッセージが伝わってきました。当方でも市内で従事しておられるセラピストの方々に多方面でご協力頂いておりますが、安本先生のメッセージを熱が冷めぬ間に研修会の内容等をお伝えできればと考えております。今回は貴重な研修会に参加させていただきありがとうございました。

3. 今後研修会で取り上げてほしいテーマ、講師の先生

- ・要支援認定者に対するリハビリ専門職の介入方法について
- ・住環境へのアプローチについて
専門職として利用者の在宅生活に寄り添った住環境への助言や工夫について学びたいです。
- ・県内老健の地域支援の内容や方法について
- ・通所のリハビリマネジメントA・B、生活行為向上加算の実際（通所リハビリ介護職との連携方法、業務量の調整方法、業務手順の整理等、運営方法を伺いたいです。）

4. 今後、改善したほうが良い項目、理由

- ・Zoom：途中で他の聴講者の話声が入るなど聞き取りにくい部分があった。
- ・Zoom：Zoomでのグループワークの際、役割の割り振りや意見を伝えるタイミングを伺うのが難しかったです。画面上に顔も見えているのですが、対面と違い難しさを感じました。



第34回全国介護老人保健施設大会 宮城チラス



第22回九州ブロック介護老人保健施設大会 美ら沖縄チラス

協会だより

令和5年1月～

- **令和4年度第2回PT・OT・ST部会研修会**
 開催日：令和5年1月18日(水)14:00～16:00(質疑応答を含む)
 場 所：医師会館3階中ホール及びZoom・YouTubeによる配信
 テーマ：リハ専門職ができるこれからの介護予防と地域支援
 講 師：安本 勝博 先生 (津山市役所・作業療法士)

- **第27回鹿児島老人保健施設県大会**
 開催日：令和5年2月14日(火)～15日(水)
 場 所：県医師会館3F(展示説明会)及び4F
 開催方法：ハイブリッド方式(Zoom及びYouTube同時配信)
 テーマ：新しいカタチ 老健 style ～笑顔ある未来へ～
 講 師：バーバラ 植村 先生
 (1)特別講演日時：令和5年2月14日(火)15:00～17:00
 (2)テーマ：「前向きに生きるために」
 (3)講演場所：県医師会館4F大ホール

- **令和4年度第1回在宅ケア・支援相談部会**
 開催日：令和5年2月21日(火)14:00～16:00(質疑応答を含む)
 場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる配信
 テーマ：「看取り支援研修」～意思決定支援～
 講 師：柳田 千草 先生 (合同会社 Big Smile)

- **令和4年度第2回理事会**
 開催日：令和5年3月1日(水)16:30～
 開催方法：Zoomによるオンライン会議
 議 題：令和5年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等について

- **令和4年度第2回介護助手事業に係る企画評価委員会**
 開催日：令和5年3月13日(月)14:00～
 場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール
 実績報告等：久留須 直也 准教授 (鹿児島女子短期大学)

- **令和4年度第3回事務長部会**
 開催日：令和5年3月22日(水)14:30～16:30(質疑応答を含む)
 場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoom等による配信
 テーマ：「介護現場におけるICT(電子カルテ)導入について
 ～導入までの流れから導入の必要性について～」
 講 師：丸山 幹生 先生 (アンダンテ伊集院 事務長)

- **令和4年度第2回臨時会員総会**
 開催日：令和5年3月22日(水)16:30～(予定)
 場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる同時配信
 議 題：令和5年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等について

- **令和5年度合同(ブロック代表事務長・研修担当委員・県大会実行委員)委員会**
 開催日：令和5年4月11日(火)
 場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール 14:00～16:00

(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

老健に入るためのご案内

1つの事例

入院中の父を入所させたい

【質問】 70歳の父が脳梗塞で入院中です。病院での治療を終え、要介護2の認定を受けました。歩行が不安定なので、いったん老人保健施設に入所し、リハビリを受けたいと考えています。老人保健施設へ入所するにはどのような流れでしょうか。

【お答え】 介護老人保健施設（以下老健）は、病状が安定して、病院での治療よりも、看護や介護に重点をおいたお世話を必要とされる高齢者を対象とした施設で、高齢者の心身の自立を支援し、親しみやすい環境の中で、家庭生活への復帰を応援します。入所の利用対象者は要介護1～5の認定を受けられた方です。以上のことから、このケースは老

健の入所対象になると考えられます。施設入所までの流れは次をご参照下さい。

まず施設を探す

現在、鹿児島県内には76の老健があり、各地に点在しています。これらの老健については、役場の介護保険窓口で紹介してもらったり、利用できる他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や本誌巻末でも連絡先を知ることができますので、近くどんな老健があるのか探してみして下さい。

気軽に相談を

施設が見つかったら相談してみましょう。老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時には支援相談員を尋ねて下さい。相談の形は電話でも直接足を運んで

もかまいません。施設からは利用者ご本人とご家族について、また要介護度や連絡先などを確認させていただき、それに併せて施設の説明を行いますので、料金や待機状況など不明な点は何でも気軽に聞いて下さい。要介護認定を受けていない場合でも、申請の仕方などケースに応じた説明を行いますのでご心配ありません。

入所待機の申し込み

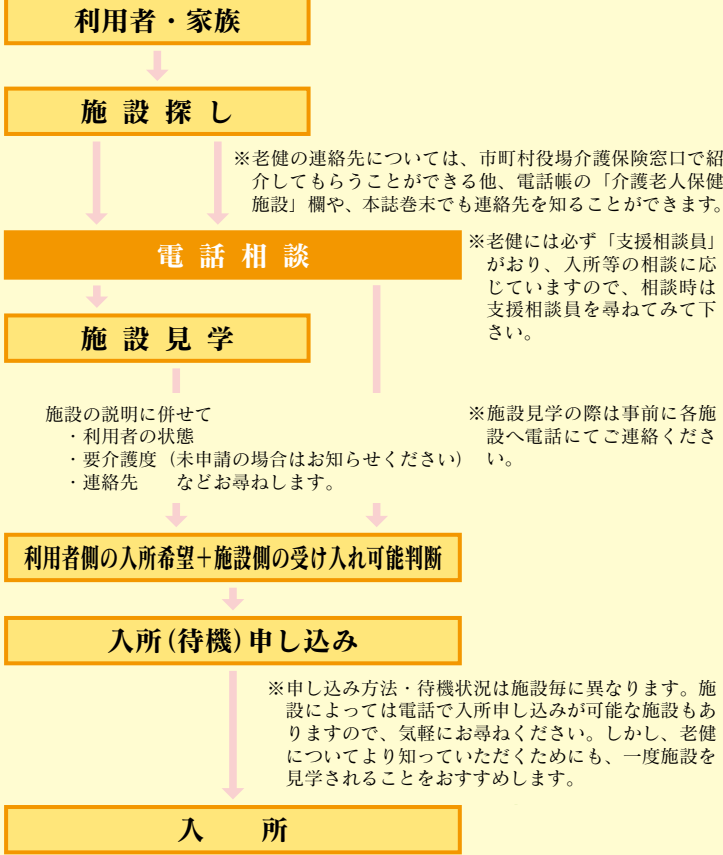
相談の後、利用者側が入所を希望され、施設側も受け入れ可能と判断しましたら、入所待機の申し込みを行い、一旦待機に入ってください。申し込み方法や待機状況は様々で、施設によっては電話での入所申し込みが可能なお所もあります。ですが、老健についてより知っていただくためにも、時間をみつけて1度施設を見学される事をおすすめします。

待機中は

入所日が決定するまでの間に、利用者の状態の変化や、他施設への入所決定等があり、待機の必要がなくなられた場合には、待機中の施設へ連絡をいただくと助かります。

入所までの大まかな流れは、上記のようになります。また、ホームページも参考にしてみてください。

老健への入所の大まかな流れ



ぶらぶらが素敵
かごしま

vol.11

東川隆太郎

NPPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事



永源寺跡



円明院跡



豊州家の墓地

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

祁答院町黒木を散策
史跡も田の神も充実

薩摩川内市のなかでも一番海から遠い山間部に位置する祁答院町黒木。江戸時代は豊州島津家こと黒木島津家の私領地で、一郷一村の地域であった。

豊州家は、黒木を領地とする以前は飫肥（現在の宮崎県日南市）や帖佐（現在の始良市）を拠点としていた。寛永11（1634）年から黒木郷が領地となる。江戸中期頃の郷高は1388石、江戸後期の士族数は420人と郷の規模は大きくはなかった。領主屋敷は現在の黒木小学校の場所であり、その周辺に麓と呼ばれる士族屋敷が形成された。現在も小学校の周辺には麓の名残があり、武家門のある屋敷もある。

豊州島津家の菩提寺であった永源寺は廃仏毀釈によって現在はないが、ゆかりの仏像や豊州島津家の当主などの墓石が伝わっている。また祈願寺であった真言宗の円明院跡には立派な仁王像が残されている。円明院は安永2（1773）年まで平松村（現在の始良市）にあった寺院である。黒木郷の総鎮守は大権現社で、現在は大楠神社として黒木小学校の南西に鎮座している。地域には諏訪神社や天神社などもあったが、それらも現在は大楠神社に合祀されている。黒木の町



大楠神社



南の田の神



浦の田の神



秋葉神社



蔵山の田の神



宮脇の田の神



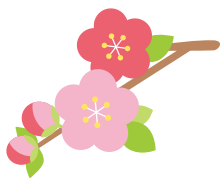
二八の田の神

の中心近くの小高い場所には秋葉神社がある。社殿はないが、地元では「あつかさあ」として信仰されている彫りのしつかりした仏像が安置されている。隣接する家の方が大切に管理されていて、行き届いた周辺の掃除などから信仰の深さやうかがい知ることができる。

さて、黒木は田の神も数多く点在する地域でもある。二八の田の神は、頭部に平たい石がバランスよく置かれているのが印象的。浦の田の神は、田んぼをしつかり見つめていて顔の表情を観察するのに少し苦労する立地にある。宮脇の田の神は、大きな石の下部に彫り込まれる背石型で、微妙な表情が素敵。南の田の神はしやがんだ感じと笑顔が素敵。蔵山の田の神は、道路沿いからは自然石タイプに映るが、近づいてみると不思議な着衣と色彩が珍しい個性派である。

コンパクトながら史跡も田の神も充実している黒木、案内標識等もしっかりしており、散策するのにとてもめぐりやすい地域である。

（ひがしかわ・りゅうたろう） 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を続けている。



こぼれおちた

ものもの

35

三角みづ紀



生まれたての本を手にとり、ぱらぱらとめくってみる。インクの匂い。過去の自分が記した言葉たちはおめかしをして、よそゆきの顔で佇んでいる。

かつて書いた詩篇と現在のわたしは、ずいぶん遠い場所にいる。愛着がないわけではない。肉筆は活字になって、別の存在として、詩は詩人より離れていく。

一月末に九冊目の詩集を刊行した。インターネットで公開される雑誌にて二年にわたり連載したもので、二十四篇が収録されている。印刷されるかたちで読むころには、書いたときから一年や二年が経っているゆえに、どのような気持ちで書いたのか、あいまいだ。

そんなふうには、すでに発表した作品たちと距離を保つて大切に感じている。もちろん言葉を用いる者として内容に責任はあるけれど、別の存在なのだ。

よそゆき顔の言葉たち



白く染まる冬の公園を散歩しながら、親と子供の関係みただと考えた。子供がいないわたしには、本当のところはわからない。

かろうじてひとがひとり歩けるくらいの道を進むと、足元で雪がぎゅっぎゅつと鳴る。気温はマイナスだが、陽光が反射して眩しくて、九つめの詩集は冬に生まれた

のだとぼんやり思った。はじめの詩集は秋に生まれた。自分の名前で本が出たなんて信じられなくて、何度も何度もめくった。高揚して、ざらざらした表紙に触れていた。

いまのわたしは、そこまで新鮮な反応ができない。あたりまえといえども、寂しい気分にもなる。慣れるということ。

しかし、本を作るって、やっぱり貴重な体験なのだろう。この手を離れて、誰かの家の書棚や鞆のなかにしのびこむ。よそゆきの顔をした言葉たちはどんな心地なのだろうか。

雪道でもランニングを欠かさない男性が、深い青色をした薄手の服で公園を過ぎていく。大型のスーパーマーケットへと近道をするおばあさんは、そろりそろりと歩いている。

見本が届いて、少しだけ覗いて、過去のわたしと視線が合わない事実。安堵して、散歩に出かけた日曜日の昼過ぎは、いつもの週末だった。わたしはなにをしてきて、なにをしていくのか。

一冊の新作が届いただけでめまぐるしく思考がめぐり、素直に喜べない自分が正直で、ちよつといなどと思つた。それでも発売にかこつけて、ずっと食べてみたかった

ケーキを食したりした。

「冬を奏でる」

疑り深いわたしは綴った文字たちは思いのほか正直でどの自分が本当かわからなくなる時まずは歩きはじめ命を確認していた

安寧とした日々を過ごすことに恐怖を持っているわたしは、変わり者だろうか。いつか、詩人とそれらについて語り合ってみたい。現在地は、詩にどのような影響をもたらすのか。

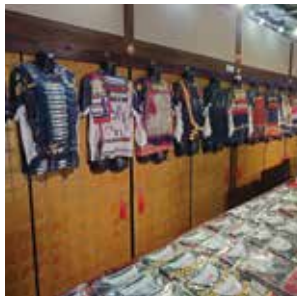
いつも考えすぎているわたしとは違い、影を落とす木々がじつとしている。くつきりとした動物の足跡。

生きる行為に必死になって、食べては眠って、労働をするあらゆる生き物に思いを馳せながら、帰宅したら自分の詩集を愛でたい。冬はそのうち春になるのだから。

三角みづ紀(みすみ・みづき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)萩原朔太郎賞受賞。



ドラマや映画で見る甲冑がずらりと並び圧倒される



土産どころでは甲冑をプリントしたTシャツを販売している



黒沢明監督の「乱」に登場する甲冑



徳川家康(右から2番目)ら戦国武将の精巧な鎧兜



「甲冑工房 丸武」の正面玄関。黒を基調とした建物が出迎える

「甲冑工房 丸武」(薩摩川内市湯島町)

川家康や織田信長、島津義弘など、戦国武将たちが用いた豪華絢爛な甲冑(かっちゅう)や兜(かぶと)の複製品がずらりと並び、戦国マニアでなくとも思わず興奮してしまう。甲冑や兜は多くの映画やテレビドラマで使われ、黒澤明監督の「乱」「影武者」で登場したものや、今年公開された「レジェンド&バタフライ」で、織田信長を演じた木村拓哉さんが身につけた鎧「どうする家康」の家康役の松本潤さんが使用する鎧兜もあった。

豪華絢爛な鎧兜ずらり

薩摩川内市の丸武産業は、全国でも珍しい甲冑を製造・販売する会社だ。その丸武が運営するのが「甲冑工房 丸武」。1万3千平方メートルの広い敷地に、黒を基調とする城や武家屋敷風の建物が立ち並び、一番の見どころはなんと、言っても「戦国武将展示館」だろう。NHK大河ドラマ「どうする家康」で話題の徳川家康の鎧兜も展示されている。

特徴は製作工程をほぼ見学できること。職人が手仕事で昔ながらの作り方をしている。一方、鉄板を薄くしたり丈夫な紙を使ったりして軽量化を図っている。その技術は県伝統的工芸品にも指定され、甲冑の複製品は同市のふるさと納税の返礼品にもなっている。

館内には食事どころや土産どころもあり、年中無休で午前9時〜午後5時。入場無料だが、甲冑の試着や射的体験は有料。

(編集委員 米森)

ふろしつ フォーカス

旧川内戦国村を2018年にリニューアルした。丸武産業は、もとは竹を使った釣りざおメーカーだったが、初代社長が骨董趣味で集めた甲冑を手直ししていたことがきっかけとなり甲冑製造に転業。今や国内シェア8割を誇り、美術品として海外からも注文が入るといふ。

甲冑工房のもう一つの

ろうけん広場

街を歩けば不思議な風景に出会えます。



屋上に丸い穴?!

鹿児島市名山町の電車通りに面した9階建てビル。高層階のガラスが特徴で、屋上に円形の大きな穴があります。何で。穴の向こうに見える空は異次元かも。



バス停

鹿児島市武の県道沿いのバス停。他に比べると極端に背が低いです。顔を上げず、時刻表を確認できて、人に優しい?バス停のようです。



公衆電話ボックス

鹿児島中央駅前の公衆電話ボックス。「受話器をとる」→「硬貨かテレホンカードを入れる」→「電話番号を押して通話する」と、電話のかけた方の手順が記されています。携帯しか知らない人が増え、必要なのかも。



五輪看板

鹿児島市のJR鹿児島中央駅近くの宮田踏切。色とりどりの看板があります。鹿児島出身の五輪金メダリストたちを紹介しています。去年は新たに人ではなく鹿児島和牛も金メダリストに加わりました。



**祝迫さんが個展を開催
「時の累積、色彩と共に」**

本誌の表紙と巻末のエッセーを毎回担当している画家の祝迫正豊さん(70)の個展が、今年1月2日から9日まで鹿児島市の山形屋画廊で開かれました。「時の累積、色彩と共に」をテーマに、近作を中心に油彩画やスケッチなど約50点を展示。表面を彫刻で削ったり技巧を凝らしたりした作品に訪れたファンが喜んでいました。



千葉しのぶさん

春編

かごしまの食卓

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。



新ジャガとイカの煮物

北海道に次いで、全国2位の出荷量を誇る鹿児島県のジャガイモは、長島町、知名町、和泊町、とそれぞれの地区で栽培されています。4月上旬から5月下旬に収穫する新ジャガは皮が薄くほくほくとした食感が特徴で、皮の香りも楽しめるので、皮付きのままの調理がおすすです。イカとの相性はバツグンで、煮た後に火からおろしそのまま冷ますと、その間にみずみずしく甘い新ジャガにイカの旨みが染み込みます。

レシピ

4人分

- 新ジャガイモ 500g^㉔
 - イカ 250g^㉔
 - かつおだし
 - うす口醤油 大さじ3
 - 本みりん 大さじ3
 - さやいんげん 20g^㉔
- (かつお節5g^㉔、水500cc)

- ①かつおだしをとる(分量の水を沸騰させかつお節を加え、再度沸騰したら火を止め、2分したらこす)。
- ②イカはワタごと足を引き抜く。足はワタと目を切り落として、口を取り除き、食べやすい大きさに切り分ける。イカの胴は軟骨を除いて洗い、エンペラを切り離す。胴とエンペラの皮をむき、胴は2g^㉔幅、エンペラは食べやすい大きさのそぎ切りにする。
- ③新ジャガイモは皮付きのまま2等分にする。
- ④鍋にジャガイモをしき、上にイカの足とエンペラをのせ①のかつおだしを加え火にかける。落しづたをし、沸騰するまで強火、その後静かに沸騰が続く程度に火を弱める。
- ⑤③のジャガイモが軟らかくなったら、調味料を加え、落としづたをして15分ほど煮含め、イカの胴を加え、3、4分ほど煮てイカに火を通す。
- ⑥いったん火からおろし味をなじませ、食べる直前に再加熱する。器に盛り、塩ゆでしたさやいんげんを添える。



煮詰めすぎないのがポイントです。煮汁が冷めるときに味が染み込みます。



かからん団子

端午の節句に、あくまきとともに作られてきたのが「かからん団子」です。かからん葉とはサルトリイバラの葉です。とげがあるので「さわるな」、つまり鹿児島弁「かかるとな」が名前の由来ともいわれています。さらに「病にかからん」(かからない)という意味合いにもとれることから「かからん団子」は縁起ものと重宝されていると聞きます。2枚1組にして団子を挟んで蒸しますが、大きな葉だと1枚を折るようになって包みます。

レシピ

10個分

- 団子粉 (米粉、もち米粉でもよい) 100g^㉔
- さらしあん 100g^㉔
- 砂糖 100g^㉔
- 塩 少々
- 水 150cc(加減する)
- かからん葉 20枚

- ① 団子粉、さらしあん、砂糖、塩を合わせ、水を少しずつ加えながら耳たぶ状程度の硬さにこねる。
- ② ①を10等分にし、かからん葉の形に合わせて丸める。2枚の葉ではさみ蒸気の上がった蒸し器で10~15分ほど蒸す。

さらしあんの種類により加える水の分量は違います。こねながら耳たぶくらいの柔らかさになるように調整しましょう。

介護用品 あれこれ

推奨福祉用具のご紹介

～入浴支援リフト NL-600のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 湯脇 稔

はじめに

前はヒーリングパートナー「ユメル・ネルル」の紹介をさせていただきましたが、今回はがらりと指向を変えて、入浴介助にも移乗介助にも使用可能な入浴リフトとして昨年9月に株式会社いうら様より発売された「入浴支援リフト NL-600」を紹介させていただきます。



据置型や3方介助の浴槽の場合



2方介助の浴槽の場合

入浴支援リフトの活用場面・利点

- ①施設等での一般個浴やユニットバス、据置型の浴槽へそのまま入浴できます。
- ②2方介助・3方介助の浴槽配置であれば電源工事や給排水工事の必要がなく使用できます。
- ③浴槽への出入りだけでなく、脱衣所での移乗や浴室内の移動にも活用できます。
- ④低床ベッド以外であればベッドサイドの移乗介助にも使用できます。

(リフトの脚高さの関係上低床ベッドでは使用できません)

- ⑤脚部の開きが大きく、ハンガーの最低位置が低いため床からの持ち上げが容易です。

便利な機能

- ①高さ制限機能：ご利用場所の天井高さに応じて、あらかじめアームの上限を設定し、吊り上げ時に天井との接触を防げます。(メモリー機能)
- ②昇降速度調整機能：無負荷時に「加速ボタン」を押すことで昇降スピードがアップし、介護の待ち時間が短縮できます。
- ③小型軽量バッテリー搭載：小型軽量のリチウムイオンバッテリー標準搭載により、交換や充電の際の取り扱いが容易で、劣化しにくい高寿命タイプで有害物質を含まず環境にも配慮しています。(フル充電時90kgの負荷で約30回の昇降可能)



高さ制限機能

ご利用場所の天井の高さに応じて、あらかじめアームの上限を設定できますから、吊り上げ時にアームと天井がぶつかるリスクを低減できます。



昇降加速機能

無負荷時に加速ボタンを押すと昇降スピードがアップしますから、介助の時間が短縮できます。



小型軽量バッテリー

小型軽量のリチウムイオンバッテリーを採用していますから、脱着や充電の際の取り扱いが楽になりました。また劣化しにくい高寿命タイプで有害物質を含まず、環境に配慮しています。

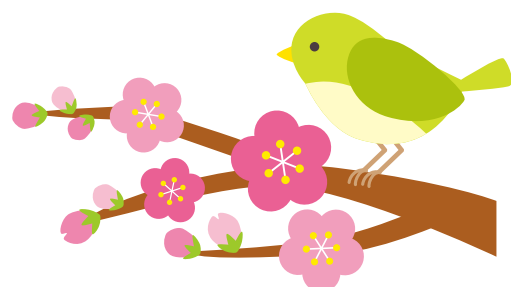
終わりに

介護現場で腰痛発生リスクの高い入浴介助、中でも浴槽への出入り動作は介助者にとっても、ご利用者にとってもリスクが高い介護動作といえます。

「施設に個浴があるけど使いにくい」、「寒くなってきたけど浴槽に入れることができないのでシャワー浴で済ませている」、「リフトを導入したいけど工事が必要で費用も高額になる」など、入浴介助でお困りの際は導入を検討されてみてはいかがでしょうか。

カクイックスウィングでは、株式会社いうら様と連携して皆様の施設でデモが可能です。ご興味のある方、試してみたい方は担当の営業社員へ気軽にお声掛けください。

*文・写真：株式会社いうら 商品カタログより引用



あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑦ろうけん始良
 〒899-5652 始良市平松5062
 ☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474
 希望ヶ丘病院
 居宅介護支援事業所ろうけん始良
 訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘
 〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
 ☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255
 青雲会病院
 居宅介護支援事業所青雲

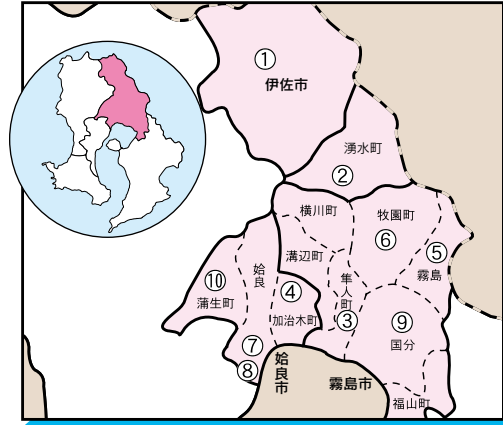


⑨アメニティ国分
 〒899-4301 霧島市国分重久361-1
 ☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515
 鵜木医院(指定介護療養型医療施設)
 うのきテイサービス(認知症専用)
 ヘルパーステーションアメニティ国分



⑩ろうけん大楠
 〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
 ☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338
 ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」
 ろうけん大楠居宅介護支援事業所
 大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと
 〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
 ☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868
 大口温泉リハビリテーション病院
 ことぶき園(特別養護老人ホーム)
 グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑
 〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
 ☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504
 あいらの森ホスピタル
 グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
 グループホーム愛の里



③希望の里
 〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
 ☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359
 隼人温泉病院(療養型病床あり)
 訪問看護ステーション姫城
 グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木
 〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
 ☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756
 加治木温泉病院
 加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
 龍門の里(軽費老人ホームA型)

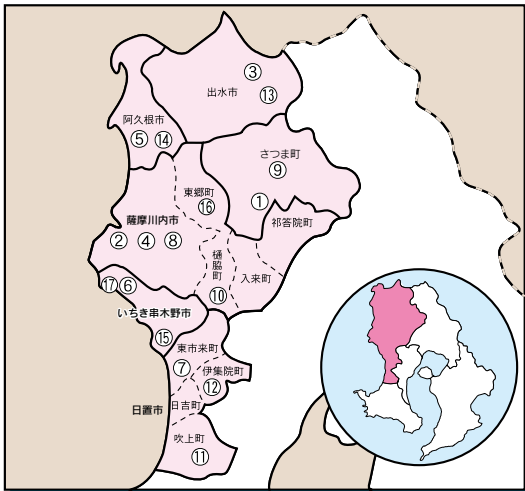


⑤きりしま
 〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
 ☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415
 霧島杉安病院
 訪問看護ステーションあんしん
 グループホームゆめ



⑥サンライトホーム
 〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
 ☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387
 霧島桜ヶ丘病院
 霧島青葉園(身体障害者療護施設)
 霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ
 〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
 ☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134
 クオリアリハビリテーション病院
 訪問看護・リハクオラU
 グループホームアリエ



②あじさい苑
 〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
 ☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373
 薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
 きららクリニック
 グループホームそら



⑫アンダンテ伊集院
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
 ☎099-272-5181 FAX 099-272-5999
 湯田内科病院
 ケアセンターリエゾン日置
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ
 〒899-0214 出水市五万石町281
 ☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008
 しもそのクリニック
 ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ
 〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
 ☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238
 黒木胃腸科外科医院
 グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
 阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき
 〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
 ☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352
 丸田病院
 吹上園・市来松寿園
 市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム
 〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧洲8920番地
 ☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313
 上村病院
 グレースホーム訪問看護ステーション
 グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜
 〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
 ☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070
 えんでん内科クリニック
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)
 グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健
 〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
 ☎099-225-3582 FAX 099-224-4096
 植村病院
 ケアハウス出かい坂
 居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出かい坂



②スイートケアなかよし
 〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
 ☎099-223-3390 FAX 099-222-6541
 玉水会病院
 いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
 〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
 ☎099-258-9180 FAX 099-257-5712
 土橋病院
 居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
 デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ
 〒899-0217 出水市平和町336-1
 ☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161
 吉井中央病院
 ユニット型老健グランアージュ
 鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター
 〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
 ☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120
 永井病院
 在宅介護支援センター 長生園
 グループホーム 自立の家



⑤回生苑
 〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
 ☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788
 内山病院
 阿久根市在宅介護支援センター
 桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑
 〒896-0002 いちき串木野市春日町63
 ☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873
 宮之原循環器内科
 串木野市在宅介護支援センター
 慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
 ☎099-273-5600 FAX 099-273-5700
 前原総合医療病院
 グループホーム あったかハウス
 訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内
 〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
 ☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570
 今村クリニック(整形外科)
 薩摩川内市在宅介護支援センター
 薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノほたるの里
 〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
 ☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007
 立志病院
 鶴田町在宅介護支援センター
 居宅介護支援事業所 パラディーノほたるの里

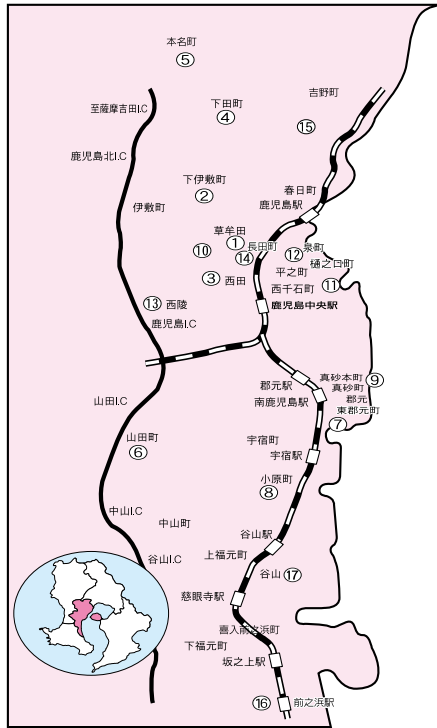


⑩グラン・ベリテわき
 〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
 ☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600
 市比野記念病院
 翠泉苑(特別養護老人ホーム)
 指月苑(養護老人ホーム)



⑪湯の浦ナーシングホーム
 〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
 ☎099-296-5411 FAX 099-296-5422
 外科 馬場病院
 居宅介護支援事業所
 (湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパーステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

吉田温泉病院居宅介護支援事業所
ヘルパーステーション ゆうばえ
訪問介護ステーション 夕映え



⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-268-1540

Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)



⑩まるにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)



⑬ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑



⑮ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

明輝会クリニック
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



⑦おさしお
 〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
 ☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501
 グループホームきらら
 長崎内科
 陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン
 〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
 ☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802
 平和台病院
 介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑
 〒891-2124 垂水市錦江町1-140
 ☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280
 垂水市立医療センター、垂水中央病院
 垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
 居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ
 〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
 ☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105
 肝属郡医師会立病院
 居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた
 〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
 ☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201
 はるびゅうクリニック
 訪問看護ステーションふるる
 居宅介護支援事業所サンセリテのがた



⑫ありあけ苑
 〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
 ☎099-477-2331 FAX 099-477-2335
 曾於医師会立訪問看護ステーション
 曾於医師会立居宅介護支援事業所



⑬絆
 〒891-2104 垂水市田神3536番地1
 ☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163
 池田温泉クリニック
 グループホームひまわり苑
 小規模多機能ホームひまわりの里

南 薩 地 区



①指宿温泉菜の花苑
 〒891-0402 指宿市十町418-1
 ☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239
 今林整形外科病院
 明正会介護支援ネットワーク菜の花
 (居宅介護支援事業所)

曾 於 ・ 肝 属 地 区



①高原ナーシングホーム
 〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
 ☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530
 高原病院
 末吉町在宅介護支援センター
 末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり
 〒893-0024 鹿屋市下祇川町1853
 ☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727
 池田病院
 鹿屋長寿園(特別養護老人ホーム)
 デイサービスセンター鹿屋長寿園



③ケアセンターやごろう苑
 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
 ☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964
 昭南病院
 大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑
 〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
 ☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160
 春陽会中央病院
 高山町在宅介護支援センター
 訪問看護ステーションたんぼぼ

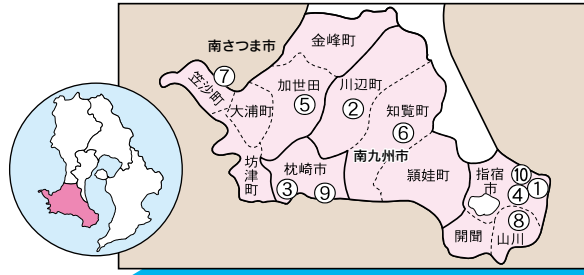


⑤ヴィラかのや
 〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
 ☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226
 恒心会おぐら病院
 居宅介護支援事業所ヴィラかのや
 訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき
 〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
 ☎099-472-5666 FAX 099-473-3494
 病院芳春苑(精神科)
 ケアハウスぬくもり
 グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑

〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑

〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院



③虹の丘

〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑

〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック



⑤せとうち

〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー

〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート

〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷

〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園

〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑

〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神

〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園

〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井

〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん

〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック



⑦さつま野菊園

〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンベールみどりの風

〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター

〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

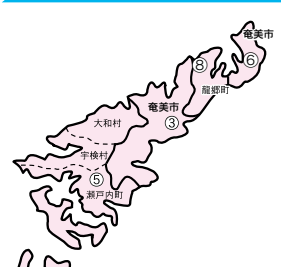
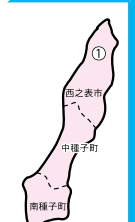
サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート

〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会



時を重ねながら…雑感。

祝 迫 正 豊

新年早々の個展が無事に終わった。

コロナ第8波にもかかわらず、多くの方が来場してくださった。会期3日目、大阪の大先輩が予告なしに来場、サプライズに恐縮した！たくさんの方々に感謝。古希の節目になった。

その後2月の節分、あつと言う間に3月の卒業シーズン。年齢を重ねるごとに時間、日のたつのが早い。

平成の大合併で知覧町、川辺町、颯娃町が南九州市となり、15年が過ぎた。合併の2年前、郷里の颯娃町で第1回の「みどりの美術展」が始まった。実行委員会に出席した際、3町の合併はほぼ決まっていると聞いた。美術展の名称をどうするか。3町に共通する色である「みどり」を入れることを提案。すんなりと決まった。

昨年11月、17回目となった「南九州市みどりの美術展」が開催され、油絵、水彩画、水墨画、それに絵手紙が展示された。第10回展から小、中学生のジュニアの部が増設されるなど意義ある回数を重ねてきた。

出品者の中には義母の介護を終えて意気消沈しているとき、娘さんから油絵絵具セットをプレゼントされ絵に取り組んだ方、絵画教室での交流が楽しくて水彩画を描いている方、遠く離れた関西から郷里を懐かしみ応募する方など、きっかけや作品に対する想いはさまざまだ。

南薩の南九州市の魅力を描いてもらうこの美術展は、もうすぐ第20回、二十歳を迎える。出品者の目標が入選、入賞だけにとどまらず、作品を通して人と人との交流、つながりを深めていけたら、と思う。

今回の表紙絵は「春近し」と題する油絵の小品。新年の個展に出品した1点だ。

まだ寒さ厳しい昨年12月、わが家の庭先で青々とした葉っぱに隠れるように白い蕾（つぼみ）が目に入った。春近しと感じながらスイセンを描いた。



表紙絵「春近し」SM号
2022年作



●作家略歴：祝迫 正豊（いわいざこ まさとよ）

- 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
- 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞（最高賞）
- 1992年 第77回二科展「二科賞」（最高賞）、他に会友賞、会員賞
- 1993年 文化庁現代美術展選抜展（全国巡回）
- 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
- 2013年 日本・スペイン交流400周年記念展招待（マドリッド市）
- 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、志学館中等高等部非常勤講師、鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇昨年12月、佐賀市であった九州ブロックの老健大会について、今月号で紹介しています。大会を通して、外国人介護人材獲得競争が世界で起きていることを初めて知りました。日本に来てよかったと思われる職場を提供できているのか、簡単に結論は出ないでしょうが、皆で真剣に考えなければならぬ課題です。

◇4年間で技能実習生から介護福祉士になったスリランカ人女性は、日本語の難しさを上手な日本語で話しました。驚きました。施設利用者とのコミュニケーションに会話は欠かせないと強調しました。短時間で日本語を習得した女性から介護に向き合う真剣さが伝わってきました。

◇佐賀大会の帰りに、開業したばかりの西九州新幹線に乗りました。長崎と佐賀の武雄温泉をつなぐ日本で一番短い新幹線です。乗車時間は23分。美しいデザインの車両に年甲斐もなくわくわくしました。（米）

編集委員

- 米森 俊一（県老人保健施設協会理事）
- 加治屋 洋（さるびあ苑）
- 谷山 尚（さくらんぼ）

ろっけん鹿児島

（令和5年春号）

令和5年4月1日発行

通巻111号 無料

編集人 米森 俊一

発行人 今村 英仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2

発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

T 8000-0050

鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F

電話099(0)047-FA0007(0)047-047

E-mail:k-roken@pp.minc.ne.jp

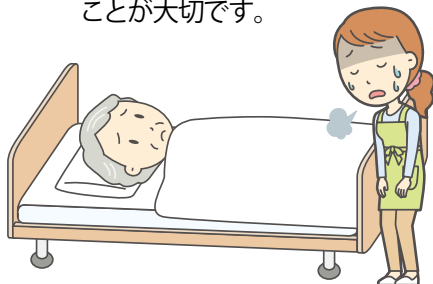
Website:https://kagoshima-roken.or.jp/



高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

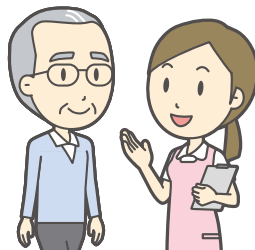
理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。



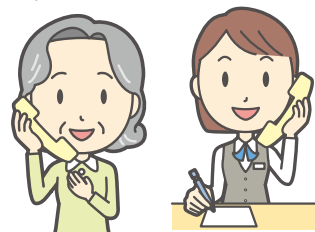
見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。



相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



地域や介護事業所の方

『虐待かもしれない…?』と思ったら!

お住まいの

市役所・
町村役場

または

地域包括
支援センター

に

迷わずご相談ください。

※市町村や地域包括支援センターの職員には、守秘義務が課されています。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

認知症に関する相談

[公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部]

(相談日/月~金 10:00~16:00) ※祝日、年末年始は除きます。

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010 (若年性認知症相談窓口)